



# セネガル国月報

2015年7月

在セネガル日本国大使館



## 主な出来事

### 内政

- 8日、サル大統領は、ジョヌ首相に対してセネガル国家功労賞(グラン・クロワ級)を授与した。
- 14日、アリユン・バダラ・ファル Observateur 紙広報部長及びモハメド・ゲイ Quotidien 紙広報部長は、それぞれ Observateur 紙が5月8日付けでセネガル部隊のサウジアラビア派遣について人員構成等の詳細を報じたこと及び Quotidien 紙が歌手チョン・セック氏による紙幣偽造に関する裁判の調書の内容を報道したことに関し、憲兵隊による拘束及び取り調べを受けた。

### 外政

- 20日、ハブレ元チャド大統領裁判が開始されたが、同元大統領弁護団が出席しなかったことから、翌21日、同元大統領審判にかかる特別法廷(CAE)のカム首席判事は代理の国選弁護人3名を任命し、新弁護団に準備期間を与える目的で裁判を45日間(9月7日まで)延期する旨発表した。

### 経済

- 4日、ジョヌ首相及びセネガルを訪問中の中国・広州企業関係者らは、2016年中に中国繊維業 C&H Garment 社が125億 Fcfa を投じてジャムニャジヨに繊維工場を建設する旨明らかにした。
- 7日、UNDP は、農村部における水及び電力供給ならびに基礎的社会サービスの格差を是正することを目的とした「緊急コミュニティ開発計画(PDUC)」の開始式典を開催した。同計画には4,220億 Fcfa が投じられる。

## 内政

### 1 各政党の動き

- 4日、チェス州ノット・ジョバスの女性及び若者を中心とした与党「進歩のための同盟(AFP)」党員らは、離党及び同党から除名された元同党ナンバー2のマリク・ガク氏らが設立した新党「Grand Parti Souxali Sénégal」への集団移籍を発表した(5日 Ferloo)。
- 5日、ファティック市においてAFPの会合が開催され、同市及びフィルムラ市、タタギン市等周辺市の同党女性指導者らが離党及び Grand Parti への入党を発表した。ンゴム Grand Parti ファティック県スポークスマンによると、同時に同県の与党共和国同盟(APR)党員、野党セネガル民主党(PDS)党員らが Grand Parti への移籍を決定している(5日 Senenews)。
- 6日、アイサタ・タル・サル・ポドール市長(与党社会党所属)、アブドゥライ・バルデ野党セネガル中道連盟(UCS)党首(ジガンシヨール市長)、モドゥ・ジャーニュ・ファダ PDS 議会担当ナショナル・セクレタリー、ウマ

ル・サール同党ナショナル・コーディネーターら 19 議員は、6 月 29 日に国民議会において採択された同議会の内部規約改正に関する法案は憲法によって保障された議員の権利を侵害するものであるとして、憲法評議会に同法の廃棄を要求した(7 日 Quotidien)。

- 8 日、アリユン・ンドイ・ダカール市プラトー区長(社会党及び政治運動「Taxaw Dakar」(当館注:2014 年の地方選挙の際、ダカール市内で立候補した社会党員らを中心に結成された)所属)は、同区内ペテルセン市場で 6 月 15 日に発生した火災及び行商人等の強制立ち退き措置について、ダカール中央警察署に召喚の上聴取を受けた。その際、バルテルミ・ジャス同市メルモス・サクレ・クール区長をはじめ、ンドイ区長を支持する「Taxaw Dakar」所属の市内各区長 4 名及びアイサタ・タル・サル・ポドール市長らが同署に駆けつけた(9 日 Quotidien)。
- 30 日、野党連合「共和国衛愛国戦線(FPDR)」は、カリム・ウッド元大臣に対する判決の是非について最高裁判所が判断を下す 8 月 6 日、同裁判所にメンバーを集合させる旨、また、同 21 日にダカール市内オベリスク広場において政治集会を開催する旨発表した(31 日 Quotidien)。

## **2 カザマンス民主勢力運道(MFDC)による森林業者誘拐事件**

- 8 日、ジガンシオール州ビニョナ県ジャンゴ村の森林業者 12 名が、セジュ州セジュ県サンサンバ村近辺の森林地帯において MFDC サリフ・サジョ派と思われる武装集団に拉致された。MFDC 側は身代金 1,000 万 Fcfa が支払われない限り人質を殺害する旨主張したが、12 日に人質を全員解放した。解放の条件等は不明(13 日 Romandie)。
- MFDC サリフ・サジョ派は、同派は政府との交渉に応じるなど平和を目指しており、誘拐には一切関与していない旨の声明を発表した(14 日 Observateur)。
- 14 日、政府は、政府が誘拐犯グループに身代金 100 万 Fcfa を支払ったとの情報を否定する内容のコミュニケを発出した(15 日 Soleil)。

## **3 報道関係者に対する拘束・取り調べ**

- 14 日、アリユン・バダラ・ファル Observateur 紙広報部長及びモハメド・ゲイ Quotidien 紙広報部長は、それぞれ Observateur 紙が 5 月 8 日付けでセネガル部隊のサウジアラビア派遣について人員構成等の詳細を報じたこと及び Quotidien 紙が歌手チヨン・セック氏による紙幣偽造に関する裁判の調書の内容を報道したことに関し、憲兵隊による拘束及び取り調べを受けた(15 日 Observateur)。
- 15 日、ファル Observateur 紙広報部長、ママドゥ・セック同紙記者及びゲイ Quotidien 紙広報部長は再度憲兵隊の取り調べを受けた後、身柄を拘束された(16 日 Quotidien)。

## **4 高等教育改革**

- 6 日、ニヤン高等教育大臣が学生組織「Damay Jangui」の発足式典出席のためシェーク・アンタ・ジョップ大学を訪問した際、式典に参加した学生らと大臣の訪問に反対する学生グループとの間で衝突が発生し、

10 数名が負傷した(7 日 Populaire)。

- 30 日, サル大統領は, コーラン学校出身者が国立行政学院(ENA)に入学できるよう制度を改革する方針を発表した(31 日 Observateur)。
- 31 日, シェーク・アンタ・ジョップ大学において, 政府及び世銀が 340 億 Fcfa を投じて実施する大学設備の改修・拡張計画の起工式及び新学生寮 3 棟(合計 1,044 名が入居可能)の落成式が開催され, サル大統領が出席した。学生寮の落成式に際しては, 同大統領の訪問に反対する学生らが投石等による抗議を行い, 治安部隊は催涙弾等を使用してこれを鎮圧した(31 日 Seneweb, 8 月 1-2 日 Soleil)。

## 5 ファティック移動閣議

- 22 日, ファティック市において移動閣議が行われ, サル大統領はファティック州の開発計画予算として 2,466 億 Fcfa が計上されている旨明らかにした(23 日 Sud Quotidien)。
- 22 日, ファティック州ゴサスで開催された経済フォーラムに出席したサル大統領は, 「地方分権化に関する第三施策」の最終段階として, 州に代わる行政単位として「地域圏(pôle territoire)」を 2016 年末までに設置することを明らかにした(23 日 APS)。
- 23 日, サル大統領は, ファティック市においてファティック州立病院の落成式に出席した(23 日 Sud Quotidien)。

## 6 その他

- 8 日, サル大統領は, ジョヌ首相に対してセネガル国家功労賞(グラン・クロワ級)を授与した(9 日 Soleil)。
- 15 日, ジョヌ首相は, ダカール市内シテ・トバゴ地区の住宅強制撤去問題に関し, 政府, レブ族及び被害者からなる三者委員会を立ち上げる意向を発表した(16-19 日 Témoignage Quotidien)。
- 23 日, ピキン市プティンバオ地区において, シェーク・アンタ・ジョップ大学教員で在セネガル仏大使館諜報員でもあるクリストフ・ポロ大尉が 3 人組に所持品を強奪された。同大尉は逃走しようとした犯人グループの車両を制止しようとしたところ道路に全身を強く打ち, 25 日に死亡した(25-27 日 Témoignage Quotidien)。

## 外政

### 1 ハブレ元チャド大統領裁判

- 15 日, ダカールにおいて, ハブレ元チャド大統領審判にかかるアフリカ特別法廷(CAE)について周知するためのコンソーシアムが開催された。ンバケ・ファル CAE 検事長によると, 同裁判は 7 月 20 日から 10 月 22 日にかけて行われ, チャドから証人として被害者 100 名が出廷する予定。また, 同元大統領に有罪の判決が下る場合, 量刑は禁固 30 年または終身懲役となる可能性があり, 恩赦が適用される可能性はない由(16 日 Quotidien)。

- 20日、ダカール裁判所において同元チャド大統領裁判が開始された。同元大統領は出廷を拒否したものの強制的に出廷させられたが、CAE 検事及び検事らを侮辱する発言を行い、退廷させられた。その後、同元大統領は再度の出廷命令を拒否したため、カム CAE 首席判事は翌日まで公判を中断する旨発表した。同元大統領弁護団は出廷しなかった(21日 Quotidien, Populaire)。
- 21日、同元大統領は再度強制的に出廷させられたが、一切発言を行わなかった。カム CAE 首席判事は、弁護団が出廷を拒否したことから、代理の国選弁護人3名を任命し、新弁護団に準備期間を与える目的で裁判を45日間(9月7日まで)延期する旨発表した(22日 Populaire)。

## **2 サル大統領の外遊**

- 3日、訪仏中のサル大統領は、第15回エクス・アン・プロヴァンス経済会議に特別招待者として出席し、特に若者の失業、国際的な財政ガバナンス、資金の不法流出等の問題の重要性を訴えた(4・5日 Soleil)。
- 13日、エチオピアを訪問中のサル大統領は、第3回国連開発資金会議に出席した(14日 Soleil)。
- 15日、サウジアラビアを訪問中のサル大統領は、サルマン国王と会談を行った(16日 Soleil)。

## **3 その他**

- 2日、ンジャイ外相及びクリュコフ駐セネガル・ロシア大使は、両国の外交及び公用旅券保持者に対して相互にビザを免除する協定に署名を行った(3日 Soleil)。
- 3日、セネガルを訪問中のダ・ロザ・ギニアビサウ外相は、ンジャイ外相と会談を行った。ダ・ロザ外相は、「セネガルによる仲裁に感謝する」、「サル大統領がンジャイ外相をギニアビサウに派遣して下さったことに感謝する」などと述べた(当館注:今般ギニアビサウでは大統領と首相との対立の深刻化が報じられており、6月23日にンジャイ外相がサル大統領の代理としてギニアビサウを訪問し、両者と会談を行った目的は右の仲裁であったと言われている)。また、同相は、2015年の安保理非常任理事国選挙において、ギニアビサウはセネガルを支持する旨発言した(3日 Soleil)。
- 6日、ジャーニュ駐チュニジア・セネガル大使は、2日にチュニス・カルタゴ空港においてセネガル外交官が複数の警察間から暴行を受けた件につき、チュニジア外務省に対して抗議文書を送付した(7日 Soleil)。
- 28日から29日にかけて、ダカールにおいてイスラムと平和に関する国際会議が開催された。同会議はティジャーヤン教団ニヤッセン派の発案により、セネガル、モロッコ及びナイジェリアによって共同開催され、国内外の宗教関係者らが出席した。28日の開会式には、サル大統領及びトゥフィク・モロッコ永代財産・イスラム宗教大臣が出席した(28日 APS, 29日 Soleil)。

## 1 中国・広州企業関係者のセネガル訪問

- 3日、シイ投資・大規模工事促進公社(APIX) 総裁, シンジャイ工業・鉱山相及びセネガルに生産拠点を設置することに関心を持つ中国・広州の企業関係者らの出席のもと、ダカールにおいて経済フォーラムが開催された(4・5日 Soleil)。
- 4日、ジョヌ首相及び広州企業関係者らは、2016年中に中国繊維業 C&H Garment 社が125億 Fcfaを投資してジャムニャジョに繊維工場を建設する旨明らかにした。同工場は2016年7月には米向けの製品輸出を開始し、操業開始時に1,000~5,000名、長期的には約5万名を雇用する予定である由(6日 Soleil)。
- 5日、APIX は、中国建設業 China Geo-engineering Corporation Overseas Construction 社及び C&H Garment 社と、それぞれジャムニャジョ工業団地建設への参入に関する了解覚書及び繊維工場の建設に関する了解覚書に署名を行った(6日 Soleil)。

## 2 世銀

- 3日、コール世銀セネガル・オペレーション部長は、セネガルにおける労働市場への参入率はサブサハラアフリカ平均の70%に対して51%にとどまり、そのため雇用率が著しく低い旨述べた。同部長によると、世銀は今後雇用問題への取組を強化する意向である(4・5日 Populaire)。
- 29日、コール部長の出席のもと、アフリカ14か国を対象とした国家予算に関する情報を提供するインターネットサイト「Boost」の開始記念式典が開催された(30日 Populaire)。

## 3 UNDP「緊急コミュニティ開発計画」

- 7日、サル大統領は、ジョヌ首相及び地方議員らとともに、農村部における水及び電力供給ならびに基礎的社会サービスの格差を是正することを目的に、UNDP が4,220億 Fcfaを投じて実施する「緊急コミュニティ開発計画(PDUC)」の開始式典に出席した。うち1,130億 Fcfaは2017年度中に実施される緊急フェーズに充てられる。また、同計画においては特にフェルロ地方(当館注: マタム州からサン・ルイ州東部)における水へのアクセス改善に重点が置かれる(8日 Soleil)。
- 市民団体「Plateforme Avenir Senegaal bi ñu bëgg」は、PDUCにつき、総予算のうち3.3~7.9%が実施経費としてUNDPの収益となる旨指摘し、セネガルの人材等が活用されないことを批判した(14日 Quotidien)。

## 4 エネルギー

- サン・ルイ州ダガナ県ボホルにおいて、Greenwish Partners 社が本年第4四半期に太陽光発電所「Senergy II」の建設を開始する予定である。発電容量は20メガワットとなる見通し(16日 APS)。

(注)「セネガル月報」は、セネガルの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。 (了)